

令和8年度 施設分析シート

I 施設の概要	施設コード	S05-04-01
---------	-------	-----------

施設コード	S05-04-01
-------	-----------

S05-04-01

施設名	ゆいの森あらかわ					
所在地	荒川区荒川二丁目50番1号					
部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課					
施設の履歴	時期	建築費 (単位：千円)	財源内容（単位：千円）			
			国・都	区債	一般財源	
	建築	23～28年度	6,655,091	831,606	3,817,000	2,006,485
	増改築①					
増改築②						
併設施設						
竣工年月日	平成29年1月31日		区職員	その他		
供用開始年月日	平成29年3月26日		職員数	85	20	
構造	鉄筋コンクリート造		階層	地上5階・地下1階		
面積	敷地面積			4,111	m ²	
	延床面積			10,944	m ²	
設置目的・経緯	利用者が自ら学び体験し、人と人が交流できる地域の文化や地域コミュニティの拠点づくりを推進する。					
関連部署	地域図書館課					
根拠法令等 設置条例	荒川区立ゆいの森あらかわ条例					
駐車場の状況	12台	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ		
駐輪場の状況	370台	対応状況	●点字ブロック	●スロープ		



Ⅱ 管理運営の状況

管理形態	直営	－	期間	－	から
				－	まで

事業内容	(1) ゆいの森あらかわ事務管理・運営に関する事業 (2) ゆいの森あらかわ子どもひろば運営等に関する事業 (3) 吉村昭記念文学館推進事業 (4) 中央図書館運営事業
------	---

対象者	区民等
-----	-----

運営時間等	運営時間	午前9時00分～午後8時30分
	休日	毎月第3木曜日、特別整理日、年末年始 他

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度（見込み）
施設基本データ等	来館者数	618,902	684,244	718,631	741,862	749,000
	利用登録者数	34,739	39,728	42,094	43,687	45,815
	所蔵資料数（点）	427,517	433,463	442,745	450,770	458,801
	貸出利用者数（人）	271,778	287,860	290,502	286,159	291,253
	貸出資料数（点）	744,966	738,892	736,477	607,218	669,847
	開館日数（日）	338	339	338	338	338
	イベント開催数（回）	405	456	477	496	517
指定管理に係る費用等						

備考	
----	--

(単位：千円)

(単位：千円)

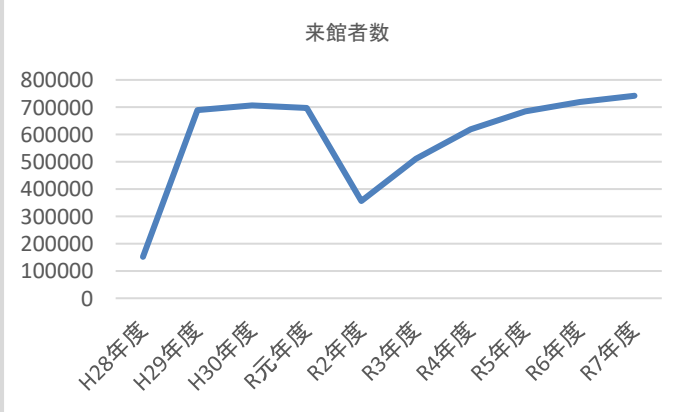
		勘定科目			R6年度	R7年度	差額			勘定科目			R6年度	R7年度	差額	
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	450,899	464,256	13,357	行政収入	地方税等	0	0	0	国庫支出金	5,156	3,299	▲ 1,857		
		物件費	322,980	333,650	10,670		都支出金	3,220	3,299	79						
		維持補修費	18,013	4,451	▲ 13,562		分担金及び負担金	0	0	0						
		扶助費	0	0	0		使用料及び手数料	8,984	9,089	105						
		補助費等	2,435	3,805	1,370		その他	10,795	8,007	▲ 2,788						
		減価償却費	252,691	244,978	▲ 7,713		行政収入合計(a)	28,155	23,694	▲ 4,461						
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 1,043,216	▲ 1,050,086	▲ 6,870						
		賞与・退職給与引当金繰入額	24,353	22,640	▲ 1,713		金融収支差額(d)	▲ 6,791	▲ 5,520	1,271						
		その他行政費用	0	0	0		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 1,050,007	▲ 1,055,606	▲ 5,599						
		行政費用合計(b)	1,071,371	1,073,780	2,409		特別収入(f)	0	88	88						
特別費用(g)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 1,050,007	▲ 1,055,518	▲ 5,511									
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	88	88													
		勘定科目			R6年度	R7年度	差額			勘定科目			R6年度	R7年度	差額	
貸借対照表	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	流動負債	351,121	197,184	▲ 153,937	還付未済金	0	0	0		
		不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	336,038	181,283	▲ 154,755	賞与引当金	15,083	15,901	818		
		その他の流動資産	0	0	0		その他の流動負債	0	0	0						
	固定資産	有形固定資産	6,146,190	5,901,366	▲ 244,824	固定負債	固定負債	1,339,475	1,163,734	▲ 175,741	特別区債	1,248,017	1,066,734	▲ 181,283		
		土地	1,622,139	1,622,139	0		退職給与引当金	91,458	97,000	5,542						
		建物	6,431,429	6,431,429	0		その他の固定負債	0	0	0						
		建物減価償却累計額	▲ 1,938,502	▲ 2,180,837	▲ 242,335		負債の部合計	1,690,596	1,360,918	▲ 329,678						
		工作物等	63,760	63,760	0		正味財産	4,475,558	4,560,433	84,875						
		工作物等減価償却累計額	▲ 32,637	▲ 35,127	▲ 2,490		正味財産の部合計	4,475,558	4,560,433	84,875						
		無形固定資産	47	182	135		負債及び正味財産の部合計	6,166,154	5,921,351	▲ 244,803						
		建設仮勘定	0	0	0											
		その他の固定資産	19,917	19,803	▲ 114											
	資産の部合計	6,166,154	5,921,351	▲ 244,803												

備考	行政費用では、主に給与関係費、物件費（光熱水費等）及び補助費等（報償費等）が増加し、小破修繕の減少により維持補修費が減少した。行政収入では、単年度の補助金及び交付金であったため、昨年度と比較し、国庫支出金及びその他が減少した。
----	---

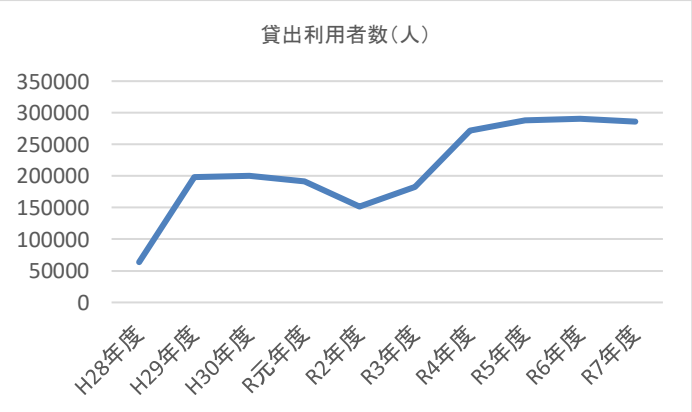
	指標	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（％）	23	27	30	34.1	
	1㎡当たりコスト（円）	89,260	88,666	97,898	98,118	
	人にかかるコストの割合（％）	41	41	44	45.3	
	蔵書回転数（貸出冊数／蔵書数）	2	2	2	1	
	貸出1冊当たりコスト	1,311	1,313	1,455	1,768	
	開館1日当たりコスト（円）	2,890,053	2,862,345	3,169,737	3,176,864	
	利用者1人当たりコスト（円）	1,578	1,418	1,491	1,447	
備考	前年度と比較して、1㎡当たりコストが220円、開館1日当たりのコストが7,127円が増加し、利用者1人当たりのコストが44円減少している。1㎡当たりコスト及び開館1日当たりのコストについて行政費用増加によるものであり、利用者1人当たりのコストについては利用者が昨年度より増加したことにより減少した。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)						
目標指標	指標名・単位		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
	入館者数	目標値	580,000	650,400	676,800	725,315	749,000
		実績値	618,902	684,244	718,631	741,862	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他()	○ 他施設との統合		○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無						
利用者・地域のニーズ	子どもから大人まで、あらゆる世代に利用され、地域の知の循環及び地域コミュニティ醸成の拠点としての役割を担っており、必要性は高い。						
現状・課題	○安全で安心して滞在できる快適な施設となるよう、利用者のニーズに応えたサービスの提供や利用者の視点に立った環境の整備をさらに行っていく必要がある。 ○いつ来ても新しい発見や変化を感じられる魅力ある施設となるよう、読書を愛するまち・あらかわ宣言及び荒川区豊かな心を育む読書のまちづくり条例の趣旨を踏まえた各種事業、イベントや展示等を継続的に実施していく必要がある。 ○区民に身近で愛される施設となるよう、ゆいの森の運営をサポートするボランティアの育成を図っていく必要がある。 ○施設の計画的な修繕の実施や予防保全の観点から施設の中長期的な修繕計画を検討することにより、施設の長寿命化を図る必要がある。						
課題に対する現時点での考え	○職員の接遇の更なる向上のための研修等の実施、安全・安心な施設運営・環境の整備 ○イベント、企画展示等の計画的な実施、他部署や地域団体等との連携 ○各種ボランティア講座の開催や活動の場の提供、各種ボランティア団体の交流・連携 ○施設の定期点検等を通じた計画的な修繕の実施、予防保全の観点から施設の修繕計画の検討						
議会、利用者等からの意見	平成29年6月会議 令和2年文教子育て 令和2年文教子育て 令和6年6月会議		福井県立文学館や、他自治体との交流・連携について 絵本館のサインの充実について 本との出会いのきっかけとなる取組について 企画・展示の更なる充実について				



来館者数が令和2年度に減少しているのは、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため臨時休館やサービスの一部を停止としたためである。



貸出利用者数が令和2年度に減少しているのは、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため臨時休館やサービスの一部を停止としたためである。